

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和1年5月16日(2019.5.16)

【公表番号】特表2017-513963(P2017-513963A)

【公表日】平成29年6月1日(2017.6.1)

【年通号数】公開・登録公報2017-020

【出願番号】特願2016-554371(P2016-554371)

【国際特許分類】

C 08 G	18/40	(2006.01)
C 09 D	175/06	(2006.01)
C 09 D	5/02	(2006.01)
C 09 D	7/40	(2018.01)
C 08 G	18/65	(2006.01)
C 08 G	18/08	(2006.01)
B 05 D	7/24	(2006.01)
B 05 D	1/36	(2006.01)

【F I】

C 08 G	18/40	0 1 8
C 09 D	175/06	
C 09 D	5/02	
C 09 D	7/12	
C 08 G	18/65	0 1 1
C 08 G	18/65	0 2 3
C 08 G	18/08	0 0 4
B 05 D	7/24	3 0 1 C
B 05 D	7/24	3 0 2 T
B 05 D	1/36	B

【誤訳訂正書】

【提出日】平成31年3月29日(2019.3.29)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(A) 少なくとも1種のポリマーであつて、
 (a) 二量体脂肪酸を含む混合物が、
 (b) 少なくとも1種の、一般構造式(I)

【化1】



のポリエーテル

(式中、Rは、C₃～C₆アルキレンラジカルであり、

nは、前記ポリエーテルが、450～2200g/molの数平均分子量を有するよう
に選択され、

成分(a)及び(b)は、0.7 / 2.3 ~ 1.3 / 1.7のモル比で使用され、結果として生じるポリマーは、1500 ~ 5000 g / molの数平均分子量、及び10 mg KOH / g未満の酸価を有する)
と反応することによって製造可能なポリマーと、
(B)少なくとも1種の、一般構造式(I I)

【化2】



のポリエーテルと、

(式中、Rは、C₃ ~ C₆アルキレンラジカルであり、nは、前記ポリエーテルが、250 ~ 3000 g / molの数平均分子量を有するように選択される)

(C)少なくとも1種の化合物であって、
少なくとも1種のアニオン性基、及び/又は少なくとも1種の、アニオンを形成することができる官能基を有し、
及び少なくとも1種のイソシアネート反応性官能基を有し、(A)及び(B)とは異なる化合物と、
(D)少なくとも1種のポリイソシアネートと、
(F)少なくとも1種の化合物であって、
2種以上のイソシアネート反応性官能基を有し、(A)、(B)、及び(C)とは異なる化合物と、
が反応することによって製造し得ることを特徴とするポリマー。

【請求項2】

さらに、(E)少なくとも1種のモノオール、又はジオールであって、(A)、(B)、及び(C)とは異なるモノオール、又はジオールが反応する、請求項1に記載のポリマー。

【請求項3】

さらに、アニオンを形成することができる成分(C)の基を中和することによって製造し得る、請求項1または2に記載のポリマー。

【請求項4】

使用される前記二量体脂肪酸を含む混合物が、少なくとも90質量%の二量体分子、5質量%未満の三量体分子、5質量%未満の单量体分子、及び他の副生成物からなることを特徴とする請求項1~3のいずれか1項に記載のポリマー。

【請求項5】

一般構造式(I)の前記ポリエーテルが、ポリプロピレングリコール、又はポリテトラヒドロフランであり、更に、800 ~ 1200 g / molの数平均分子量を有することを特徴とする請求項1~4のいずれか1項に記載のポリマー。

【請求項6】

一般構造式(I I)の前記ポリエーテルが、ポリプロピレングリコール、又はポリテトラヒドロフランであり、更に、1800 ~ 2200 g / molの数平均分子量を有することを特徴とする請求項1~5のいずれか1項に記載のポリマー。

【請求項7】

成分(a)、及び(b)が、0.9 / 2.1 ~ 1.1 / 1.9のモル比で使用されることを特徴とする請求項1~6のいずれか1項に記載のポリマー。

【請求項8】

5000 ~ 50000 g / molの数平均分子量を有することを特徴とする請求項1~7のいずれか1項に記載のポリマー。

【請求項9】

50 mg KOH / g 未満の酸価を有することを特徴とする請求項1～8のいずれか1項に記載のポリマー。

【請求項10】

少なくとも1種の、請求項1～9のいずれか1項に記載のポリマーを含むことを特徴とする着色水性ベースコート材料。

【請求項11】

前記着色水性ベースコート材料の合計質量に対する、本発明に係るポリマーの質量パーセンテージフラクションの合計が、0.1質量%～30質量%であることを特徴とする請求項10に記載の着色水性ベースコート材料。

【請求項12】

更なる結合剤として、少なくとも1種の、本発明に係るポリマーとは異なる他のポリウレタン樹脂を含むことを特徴とする請求項10又は11に記載の着色水性ベースコート材料。

【請求項13】

ベースコートフィルムとクリアコートフィルムとの付着を促進するためまたはベースコートと最初の仕上げとの付着を促進するため、着色水性ベースコート材料に請求項1に記載のポリマーを使用する方法。

【請求項14】

(1) 着色水性ベースコート材料を基材に塗布し、
(2) 工程(1)で塗布されたコーティング材料からポリマーフィルムを形成し、
(3) 結果として生じるベースコートフィルムにクリアコート材料を塗布し、繰り返す
(4) クリアコートフィルムと共に前記ベースコートフィルムを硬化することによるマルチコート塗料系の製造方法であって、

工程(1)において、請求項10～12のいずれか1項に記載の着色水性ベースコート材料を使用することを特徴とする製造方法。

【請求項15】

工程(1)から生じた前記基材が、コーティング上、及びコーティング内の破損である欠陥部分を有するマルチコート塗料系であることを特徴とする請求項14に記載の製造方法。

【請求項16】

請求項14に記載の製造方法によって製造し得ることを特徴とするマルチコート塗料系。

【請求項17】

前記欠陥部分を有するマルチコート塗料系が、請求項16に記載の塗料系であることを特徴とする請求項15に記載の製造方法。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0170

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0170】

この目的のために、表1に示した量で、ジメチルプロピオン酸、ジシクロヘキシリメタン4,4'-ジイソシアネート、イソホロンジイソシアネート、ネオペンチルグリコール、ポリTHF2000、PP1、PP2をメチルエチルケトンと混合し、80～82で攪拌しながら反応させる。反応を、DIN EN ISO3251に準じて、ジブチルアミンを用いて、イソシアネート分を滴定することによって監視する。イソシアネート含有量が、一定であり、存在する溶液に対して0.8～1.2%に到達するときは、測定される遊離NCOの量に対して、115%のモル過剰のトリメチロールプロパンを加える($n[NCO\text{プレポリマー}]/n[\text{トリメチロールプロパン}] = 1.15$)。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0175

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0175】

【表1】

表1：ポリウレタンを製造するための成分

成分	質量%			
	P U 1	P U 2	P U 3	P U 4
ジメチロールプロピオニ酸	108.9	109.5	113.1	109.0
ジシクヘキシルメタ ン4, 4' -ジイソシアネート	587.7	747.4		607.0
イソホロンジイソシア ネート			534.8	
ネオペンチルグリコ ル	22.6	79.5	36.7	35.3
ポリTHF 2000		1423.9	873.3	841.2
PP1			822.3	841.2
PP2	1218.7			
トリメチロールプロバ ン	56.6	86.0	66.6	64.2
ジエタノールアミン	54.8	53.66	53.3	51.37

【誤訛訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0181

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0181】

混合ワニスの製造

混合ワニスを製造するために、まず、第一に、水及びフィロシリケートを、表3のように組み合わせて混合する。混合物が均一となったとき、ポリウレタン結合剤組成物、アクリレート増粘剤、ジメチルエタノールアミン及び水を、記載される順番に、攪拌しながら加える。

【誤訛訂正5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0182

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0182】

【表3】

表3：混合ワニスを製造するための成分

成分	質量部
水	300
フイロシリケート (Laponite (R) RD)	10
ポリウレタン結合剤組成物 (25% 固形分、5% Plurilo 1 (R) P900、70% 水)	228
アクリレート増粘剤	1
ジメチルエタノールアミン	2
水	450